



日本物理学会 2015秋季大会 市民科学講演会 科学技術と私たちの暮らし

日本物理学会2015秋季大会が関西大学で開催されるのを機会に、「科学技術と私たちの暮らし」をテーマとする市民科学講演会を開催いたします。科学技術の発展は、負の側面を見せる場合もありましたが、私たちに物質的な豊かさをもたらしてくれました。私たちは現在、エネルギーや環境に関する困難な問題に直面していますが、科学技術のさらなる発展がそれらを解決してくれる可能性があります。一方、科学技術の進歩は古代文明時代より文化を発展させ、私たちに精神的な豊かさをもたらしてくれました。

今回の講演会では二人の講師の先生が、小学生・中学生・高校生を含む一般市民の皆さんを対象に「科学技術と私たちの暮らし」に関わる講演をして下さいます。石川正司先生(関西大学 化学生命工学部 教授)は、「蓄電技術によるエネルギー高効率利用社会の幕開け」というエネルギー問題に関連した題で、一般市民の皆さんも理解できるお話をして下さいます。また、吹田浩先生(関西大学 文学部 教授)は「古代エジプト文明の技術」という題で、ロマンにあふれたお話をして下さいます。数多くの市民の皆様方のご来場を歓迎いたします。

日時 2015年9月20日(日) 13:30～15:45 (開場12:30)

会場 関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館

13:30 ～

講演 「蓄電技術によるエネルギー高効率利用社会の幕開け」

石川正司 関西大学化学生命工学部 教授

関西大学 先端科学技術推進機構 機構長



14:45 ～

講演 「古代エジプト文明の技術」

吹田浩 関西大学文学部 教授

関西大学 国際文化財・文化研究センター センター長



対象 小学生・中学生・高校生を含む一般の方々

入場 無料

申込 当日会場にて受付 (定員500名)

主催 日本物理学会, 日本物理学会2015秋季大会実行委員会

共催 関西大学

後援 日本物理教育学会近畿支部, 大阪府教育委員会,

吹田市教育委員会, 豊中市教育委員会

問合せ 日本物理学会2015秋季大会実行委員会事務局

電子メールsaitoh@kansai-u.ac.jp 電話06-6368-0891





概要

石川正司

電気エネルギーを有効に利用するためには、変動の大きい自然エネルギーから発電した電力を平準化して使いやすくするといった、社会全体を見据えた大型の蓄電技術と、より便利で軽く安全で多くの電気を持ち運ぶ、という小型や移動用の蓄電技術があります。この両技術はどちらもこれからの高効率エネルギー社会に必須で、特に我が国では、我々自身が必要とするだけでなく、もともと持っている高い技術で世界に貢献する産業としての意味もあります。本講演では、最近の蓄電技術を分かりやすく紹介し、この技術のポイントを解説します。また、安全を重視した電池や、宇宙などの特別な環境で活躍する新型電池についても紹介します。

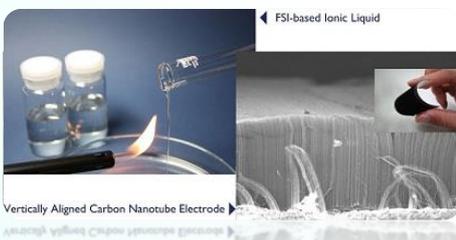
吹田浩

古代エジプトの歴史は、紀元前3000年ごろに始まり、そのあとほぼ3千年にわたり、文明が栄えました。この古代エジプト文明は、ピラミッド、ミイラ、王家の谷、黄金の仮面など多くの文化財を残しています。今回のお話では、エジプトを訪問すると見る壁画や、ファイアンスやガラスなどの装飾品に使われた古代の技術を見てみます。今日にもつながる技術の萌芽と面白い技術を見ることができると思います。また、関西大学の国際文化財・文化研究センターでの研究の成果もご紹介します。

交通



阪急電鉄 淡路駅から千里線「北千里」行で関大前駅下車。南改札口(梅田方面出口)から入構して徒歩3分(屋外エスカレーターを2つ上る)



この伝統を、超える未来を。